



合言葉は **おたがいさま** vol. 33

生活支援コーディネーター-本田の支え合い活動レポート

令和7年度に実施したデマンドバス体験事業をレポートします。

伯耆町では運転免許返納後も公共交通機関を利用して、自立した生活が送れるための取り組みとして、デマンドバスの乗車体験会を実施しています。

1回目は12月10日(水)に「はつらつ(二部)教室」の教室生を対象に、デマンドバスを乗り継いでフレスポ伯耆へ行くお買い物ツアーを実施しました。二部地区から6人(70~80歳代)の参加者があり、ほとんどの人がデマンドバス初体験でした。慣れない予約や乗車体験にドキドキされながらも、「体験してみて仕組みが分かったし良かった」「みんなで体験できて楽しかった」「今度は電車にも乗ってみたい」など、前向きな意見が聞かれました。

2回目は「障がい老人をささえる家族の会」の会員を対象に、毎月開催されている“介護家族のつどい”に、デマンドバスで参加していただきました。3月26日(木)、二部線、循環線の右回り・左回りの3つの路線を利用され、合計12人(30~80歳代)の参加がありました。

参加者からは、「集落の中まで入ってもらえるので助かる」「安いし、時間通りだし、家からバス停も近くて良かった」「運転しなくなれば、通院や買い物などで使いたい」という意見と、「予約の仕方が難しかった」「右回りと左回りを理解しなくては」という少し不安に思う声も聞かれました。

デマンドバス体験事業を実施して、一人では消極的だった人も、仲間と一緒に楽しく参加していただけたと思います。まずは乗ってみて、身近に感じていただき、自立した生活を続けるための手段の一つと思っていただけたらうれしいです。

合言葉はおたがいさまです。



溝口駅で乗り換え(12月10日)



最寄りのバス停から乗車(3月26日)



問い合わせ先

健康対策課 高齢者支援室

0859-68-5535

連載

SERIALIZATION



二部小学校 暖かい地域の支援

4月23日から「わくわくお話タイム(読み聞かせ)」が始まりました。二部小学校では毎回5人のボランティアさんに、担当する学年に合わせて図書館などで児童

が関心を持ちそうな内容の絵本を探して読み聞かせをしていただきます。児童は毎回とても楽しみにして待っています。5人のボランティアさんそれぞれに特徴があり、とても暖かい地域の支援をいただいています。

また、5月7日の連休明けには、6月1日のプール開きに向けて、保護者・ボランティア・森のようちえん「michikusa」の職員の方にもお手伝いいただき、児童と一緒にプールの周辺およびプール内を綺麗に掃除しました。年々児童の人数が減少していますが、暖かい地域の支援のお陰で学校の学習や活動ができています。地域や関係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。



読み聞かせの皆さん



プール掃除の様子



問い合わせ先

教育委員会 生涯学習室

0859-62-0712